



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	66,679	7.3	3,145	1.2	△802	—	△827	—
28年3月期第2四半期	62,158	10.4	3,107	147.8	3,170	7.0	1,855	△9.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △2,404百万円(—%) 28年3月期第2四半期 1,181百万円(△48.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△8.51	—
28年3月期第2四半期	19.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	172,880	77,803	44.7
28年3月期	161,055	80,646	49.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 77,233百万円 28年3月期 80,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
29年3月期	—	6.25			
29年3月期(予想)			—	6.25	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	6.3	11,000	31.5	11,000	54.8	7,000	97.5	71.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記情報) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期2Q	113,184,548株	28年3月期	113,184,548株
29年3月期2Q	15,947,812株	28年3月期	15,947,724株
29年3月期2Q	97,236,788株	28年3月期2Q	97,237,366株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、円高や海外経済の不確実性を背景に景気の先行きは不透明な状況になっております。また、個人消費についても雇用環境が改善しているものの弱含みで推移しております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続きポートフォリオ経営の強化に取り組んで参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は66,679百万円（前年同期比7.3%増）となりました。営業利益はソリューション事業や看護師向け通販事業での増益などにより3,145百万円（同1.2%増）となる一方、為替相場の変動による利益が前年とは逆にマイナスとなったため、経常損失は802百万円（前年同期は経常利益3,170百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は827百万円（前年同期は四半期純利益1,855百万円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔総合通販事業〕

家具・雑貨等の売上が堅調で、売上高は34,139百万円（同3.8%増）となりました。また、セグメント利益は原価率や物流費率の改善などにより1,043百万円（同18.6%増）となりました。

〔専門通販事業〕

丸長(株)の売上が寄与したことに加え、看護師向け通販事業が好調だったこともあり、売上高は18,768百万円（同13.2%増）となりました。また、セグメント利益も761百万円（同78.0%増）となりました。

〔店舗販売事業〕

新規出店などもあり、アパレル店舗事業に加えて、和装店舗事業も売上を伸ばしたことで、売上高は6,249百万円（同27.0%増）となりましたが、セグメント損失は新規に株式取得した(株)マイムの季節要因などにより222百万円（前年同期はセグメント利益113百万円）となりました。

〔ソリューション事業〕

封入・同送サービス事業に加え、通販代行サービス事業も順調に売上を伸ばし、売上高は2,760百万円（同27.0%増）、セグメント利益は1,304百万円（同50.3%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は1,506百万円（同7.3%増）、セグメント利益は539百万円（同21.9%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

前年同期にあった不動産販売が当期は無かったことなどから、売上高は1,822百万円（同39.3%減）、セグメント利益は18百万円（同96.6%減）となりました。

〔その他の事業〕

卸売事業などで売上を伸ばし、売上高は1,768百万円（同17.5%増）、セグメント損失は139百万円（前年同期はセグメント損失67百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比6,214百万円増加し、80,403百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,536百万円減少した一方で、営業貸付金が811百万円、商品及び製品が2,753百万円、販売用不動産が2,564百万円、仕掛販売用不動産が1,880百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比5,610百万円増加し、92,476百万円となりました。これは主に建物及び構築物が2,568百万円、その他投資が1,989百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比11,824百万円増加し、172,880百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比4,299百万円増加し、41,727百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が2,273百万円、短期借入金が1,425百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比10,368百万円増加し、53,349百万円となりました。これは主に長期借入金が7,626百万円、その他固定負債が2,966百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比14,667百万円増加し、95,077百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比2,843百万円減少し、77,803百万円となりました。この結果、自己資本比率は44.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、3,028百万円減少し、15,211百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、1,711百万円(前年同期は3,728百万円の増加)となりました。主たる減少要因は、営業貸付金の増加1,014百万円、たな卸資産の増加2,263百万円、販売用不動産の増加4,145百万円、法人税等の支払額946百万円などであり、一方で、デリバティブ評価損4,259百万円、仕入債務の増加2,138百万円などが主な増加要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、8,200百万円(前年同期は5,090百万円の減少)となりました。主たる減少要因は、定期預金の預入支出786百万円、有形固定資産の取得による支出5,720百万円、投資有価証券の取得支出720百万円、差入保証金にかかる支出2,141百万円などであり、一方で、定期預金の払戻収入1,183百万円などが主な増加要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、7,378百万円(前年同期は3,377百万円の増加)となりました。主たる増加要因は、長期借入による収入9,669百万円などであり、一方で、長期借入金の返済による支出2,273百万円などが主な減少要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の業績予想につきましては、平成28年5月11日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したLABB CAPITAL LLC及び株式を取得した(株)マイムを連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間より、株式を取得した(株)ミン、(有)ジュラン、(株)R i nを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,478	15,941
受取手形及び売掛金	9,279	9,786
営業貸付金	18,082	18,893
有価証券	346	1,011
商品及び製品	15,610	18,364
原材料及び貯蔵品	1,220	855
販売用不動産	999	3,564
仕掛販売用不動産	3,173	5,053
繰延税金資産	684	977
その他	6,417	7,009
貸倒引当金	△1,104	△1,053
流動資産合計	74,189	80,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,341	23,909
機械装置及び運搬具(純額)	902	913
工具、器具及び備品(純額)	378	426
土地	35,400	36,204
リース資産(純額)	366	430
建設仮勘定	1,069	2,071
有形固定資産合計	59,459	63,955
無形固定資産		
のれん	3,231	3,530
リース資産	1,612	1,430
その他	3,498	3,418
無形固定資産合計	8,342	8,378
投資その他の資産		
投資有価証券	14,561	13,595
長期貸付金	1,580	1,454
破産更生債権等	239	263
繰延税金資産	1,007	1,161
その他	1,952	3,942
貸倒引当金	△276	△275
投資その他の資産合計	19,065	20,142
固定資産合計	86,866	92,476
資産合計	161,055	172,880

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,633	17,906
短期借入金	8,109	9,534
未払費用	7,880	8,255
リース債務	680	677
未払法人税等	951	245
賞与引当金	569	618
返品調整引当金	67	86
ポイント引当金	599	489
その他	2,936	3,914
流動負債合計	37,428	41,727
固定負債		
長期借入金	38,359	45,985
利息返還損失引当金	1,048	948
リース債務	1,316	1,202
退職給付に係る負債	65	41
役員退職慰労引当金	252	261
資産除去債務	505	510
その他	1,433	4,399
固定負債合計	42,981	53,349
負債合計	80,409	95,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	68,449	67,013
自己株式	△9,677	△9,677
株主資本合計	80,382	78,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	584	397
為替換算調整勘定	△811	△2,130
退職給付に係る調整累計額	22	19
その他の包括利益累計額合計	△204	△1,713
非支配株主持分	468	569
純資産合計	80,646	77,803
負債純資産合計	161,055	172,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	62,158	66,679
売上原価	27,809	29,190
売上総利益	34,349	37,488
返品調整引当金繰延差額	24	19
差引売上総利益	34,325	37,469
販売費及び一般管理費	31,218	34,323
営業利益	3,107	3,145
営業外収益		
受取配当金	230	127
その他	509	722
営業外収益合計	739	850
営業外費用		
支払利息	63	58
支払手数料	201	28
為替差損	86	306
デリバティブ評価損	165	4,259
減価償却費	85	61
その他	73	83
営業外費用合計	676	4,798
経常利益又は経常損失(△)	3,170	△802
特別利益		
投資有価証券売却益	43	7
特別利益合計	43	7
特別損失		
固定資産除却損	-	12
減損損失	-	78
投資有価証券評価損	153	109
特別損失合計	153	200
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	3,060	△995
法人税、住民税及び事業税	1,059	217
法人税等調整額	171	△379
法人税等合計	1,230	△161
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,830	△834
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,855	△827

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,830	△834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△713	△186
為替換算調整勘定	72	△1,380
退職給付に係る調整額	△7	△3
その他の包括利益合計	△648	△1,570
四半期包括利益	1,181	△2,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,210	△2,336
非支配株主に係る四半期包括利益	△29	△68

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	3,060	△995
減価償却費	1,182	1,287
減損損失	-	78
返品調整引当金の増減額(△は減少)	24	19
のれん償却額	222	251
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	23
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	28
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△38	△28
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	5
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△91	△110
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△23	△100
受取利息及び受取配当金	△382	△297
支払利息	63	58
デリバティブ評価損益(△は益)	165	4,259
投資有価証券売却損益(△は益)	△43	△7
投資有価証券評価損益(△は益)	153	109
為替差損益(△は益)	728	280
固定資産除却損	-	12
売上債権の増減額(△は増加)	292	△419
営業貸付金の増減額(△は増加)	△40	△1,014
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,223	△2,263
販売用不動産の増減額(△は増加)	672	△4,145
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△387	△861
仕入債務の増減額(△は減少)	926	2,138
その他の流動負債の増減額(△は減少)	127	872
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△1	224
その他	39	△384
小計	5,388	△978
利息及び配当金の受取額	470	254
利息の支払額	△63	△59
法人税等の還付額	6	18
法人税等の支払額	△2,074	△946
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,728	△1,711

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,090	△786
定期預金の払戻による収入	1,358	1,183
有価証券の売却による収入	207	-
有形固定資産の取得による支出	△1,866	△5,720
有形固定資産の売却による収入	15	0
無形固定資産の取得による支出	△1,011	△126
投資有価証券の取得による支出	△3,825	△720
投資有価証券の売却による収入	1,618	440
子会社株式の取得による支出	△85	△424
貸付けによる支出	△187	△80
貸付金の回収による収入	11	10
差入保証金の差入による支出	△210	△2,141
差入保証金の回収による収入	7	9
その他の支出	△33	△48
その他の収入	1	203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,090	△8,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,755	950
長期借入れによる収入	28,358	9,669
長期借入金の返済による支出	△26,891	△2,273
社債の償還による支出	-	△45
非支配株主からの払込みによる収入	42	34
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△607	△607
リース債務の返済による支出	△279	△348
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,377	7,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	△99	△495
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,915	△3,028
現金及び現金同等物の期首残高	16,102	18,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,017	15,211

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	32,807	16,568	4,920	1,977	1,404	2,991	1,488	—	62,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	88	6	—	196	—	8	17	△316	—
計	32,896	16,574	4,920	2,173	1,404	3,000	1,505	△316	62,158
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	879	427	113	867	442	538	△67	△94	3,107

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳127百万円とのれん償却費△222百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	34,037	18,714	6,249	2,616	1,506	1,810	1,744	—	66,679
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101	53	—	144	—	12	24	△335	—
計	34,139	18,768	6,249	2,760	1,506	1,822	1,768	△335	66,679
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,043	761	△222	1,304	539	18	△139	△158	3,145

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳92百万円とのれん償却費△251百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。